

設研現代問題セミナー要旨

日 時：2019年1月15日 10時30分～12時00分

講 師：東京大学社会科学研究所 伊藤亜聖准教授

演 題：なぜ中国でイノベーションと社会実装が加速しているのか？

本研究は技術革新の中でも近年注目されつつあるデジタル領域に注目し、中国における視点を国際比較も行いながら検討を行う。

モバイルインターネット技術のインフラ整備、利活用、人材育成などを含む「デジタル化」は、「第四次産業革命」であるとの断絶的な見方が存在する。その非連続的な変化に懐疑的な見方も存在するが、数と接続性、能力、普及、価値の観点から経済と社会、政策に影響を与えたことは事実である。「発展途上国かつ経済大国」である中国におけるデジタル化は以下の2点の特徴を持っている。第1に、人口大国・中国とネットワーク外部性の相乗効果である。インターネットはユーザー数の増加によって利便性が飛躍的に向上する性質を持つ。中国国内の膨大なユーザーに支えられてアリババやテンセントといった中国発のプラットフォーム企業が登場し、台頭してきたことは事実である。しかし、中国は2014年まで経済成長率よりもインターネットユーザー人口の伸びが高い「インターネット人口ボーナス」と呼ばれる状態にあったのが、それ以降消失したとされている。第2に、モバイルインターネットの領域での既存ユーザーの囲い込みである。「スーパーアプリ」を通じて日常の様々な局面の消費活動への導線が確立しつつある。

中国のデジタル化のメカニズムに関して検討するため、世界銀行が公表している The Global Findex data からデジタル化の代理指標として「携帯電話またはインターネットを通じて銀行口座にアクセスしている人の比率」（以下モバイルバンキング比率）に注目して分析を行った。一人当たりGDPが高い国々、すなわち先進国ほどインターネットを介した銀行口座へのアクセスは増加している傾向にあり、経済発展とデジタル化は関連することがわかった。ただしばらつきが大きく、例えば日本は同一レベルの経済発展している国々と比較するとほぼ下限水準にある。日本のデジタル化の遅れは人口構造の問題だとされることも多いが、生産年齢人口とモバイルバンキング比率をみると、人口構造とデジタル化の間には、国レベルの比較では意外にも明確な傾向が観察されないことが示された。続いて、政治的自由とデジタル化の関係を分析してみると、傾向として若干の逆U字型の関係が観察された。自由が制限された権威主義体制においてもデジタル化が進む傾向があり、デジタル化と政治的抑圧の相性の良さが示唆される。また、被説明変数をモバイルバンキング比率あるいはEコマース比率、説明変数を経済発展水準、人口構造、政治体制などとしたモデルを推計し、実測値からモデル予測値を引いた残差に注目すると、中国は正で日本は負となる。この結果は中国がなぜかデジタル化が進んでいる国で、日本は経済発展や政治体制度からすれば本来実現してしかるべきデジタル化水準を下回る実状にあることを示しており、デジタル化の社会的能力の存在を示唆している。

中国のデジタル化の社会実装は「民と官の共創」で実現しつつある。例えば大手IT企業が大きな役割を果たしモバイル決済がインフラとなってきている中で、政府は、一度はモバイル決済の停止意見を通達したものの後に容認した。このように、民間主導的な形でモバイル化が実装して、政府が規制緩和を追随して行う様が観察される。

一方で、データ管理と監視社会という面からは、「官と民の共犯」関係が伺える。社会のデジタル化・IoT化の

側面としてデータプライバシーの問題があるが、中国では監視カメラや社会信用スコアといったツールを政府が積極的に活用している状況にある。例えばアリババグループのスーパーアプリであるアリペイでは、アプリ内の情報をもとに独自のアルゴリズムで個人をスコアリングして、それを保険金融サービスの審査に活用、さらには政府の「社会信用スコア」に情報を提供している。このように共産党体制がデジタルプラットフォームを通じて検閲や監視を行っていることは「デジタルレーニン主義」と呼ばれている。しかし、データ提供と利便性の交換は中国に限った議論ではなく、データとアルゴリズムでより規範的な社会を構成することが可能になるかもしれないことには注意が必要である。さらに、中国にも「民意」が存在しないわけではなく、サイバーセキュリティ法が施行されるなどデータ保護規制は進行しつつある。

中国の対外政策では、「デジタル一帯一路」を建設し中国国内のサービスを国外に展開させることが構想されている。新興国は先進国とは異なる政治的体制、経済的ニーズ、異なる社会的条件を持つが、デジタルチャイナの問題領域で生じている現象が今後の新興国論を考えるうえでも有用であるかもしれない。

以上